学校番号	３１５

令和２年度　地歴科

教科	地理歴史	科目	日本史Ｂ	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	「高校日本史　改訂版」　（山川出版）						
副教材等	「最新　日本史図表」　（第一学習社）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

① 歴史という時間軸を感じる。
② 歴史的事象に疑問を持つ。
③ 歴史を背景とした日本の諸事情を踏まえ、現在の日本のあり方を考える。

2　学習の到達目標

① ２年次から継続して近現代までの日本の歴史を考える。
② 諸資料に親しみ、現代の諸課題を歴史と結びつけ、歴史的思考力を養う。
③ 日本の歴史を地理的条件と関連付けながら理解し、国際社会に主体的に生きるに日本国民としての自覚と資質を養う。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:資料活用の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	わが国の歴史の展開に対する関心と課題意識を高め、意欲的に追求し、国際社会に主体的に行き国家・社会を形成する日本国民としての責任を果たそうとする。	わが国の歴史の展開から課題を見出し、国際環境と関連づけて多角的・多面的に考察しわが国の文化と伝統の特色についての認識を深め、国際社会の変化を踏まえて公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。	わが国の歴史の展開に関する諸資料を収集し、有用な情報を適切に選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。	わが国の歴史の展開についての基本的な事柄を、国際環境と関連づけて総合的に理解し、その知識を身につけている。
評価方法	ワークシート レポート 発言	定期考査 ワークシート 発言	定期考査 ワークシート 発言	定期考査 発言

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	武家社会の成長	・戦国の動乱	○ ○ ○ ○	 ○ ○ 	○ ○	○ ○ ○ ○	a 室町時代の社会・文化の変化に対する関心と課題意識を高め、意欲的に追及している b 室町時代の社会・文化の展開から課題を見出し、新旧の武家勢力の交代などと関連づけて多角的・多面的に考察し、その過程や結果を適切に表現できている。 c 室町時代の社会・文化の変化に関する諸資料を収集し、有用な情報を適切に選択して、読みとり、図表などにまとめることができている。 d 室町時代の社会・文化の現代社会と結びついている事柄を、総合的に理解し、その知識を身につけている。	定期考査 ワークシート 発言 レポート

	幕藩体制の成立	・織豊政権 ・江戸幕府の成立 ・江戸初期の外交と文化	 ○ ○	○ ○ 	 ○ ○	○ ○	a 近世社会・幕藩体制の成立過程や文化の特色について、意欲的に追究している。 b 近世社会・幕藩体制の成立や文化の特色とヨーロッパとの関係とを関連づけて多角的・多面的に考察し、その過程や結果を適切に表現できている。 c 近世社会・幕藩体制の成立や文化の特色に関する諸資料を収集し、有用な情報を適切に選択して、読みとり、図表などにまとめることができている。 d 近世社会・幕藩体制の成立や文化についての基本的な事柄を、ヨーロッパとの関係と関連づけて総合的に理解し、その知識を身につけている。	定期考査 ワークシート 発言
1学期	幕藩体制の展開	・幕政の安定 ・経済の発展 ・元禄文化	 ○ ○	○ ○	○ ○ 	 ○ ○	a 幕藩体制の展開及び近世の文化の特色について、意欲的に追及している。 b 幕藩体制の展開及び近世の文化の特色を、17 世紀前半の外交と関連づけて多角的・多面的に考察し、その過程や結果を適切に表現できている。 c 幕藩体制の展開及び近世の文化の特色に関する諸資料を収集し、有用な情報を適切に選択して、読みとり、図表などにまとめることができている。 d 幕藩体制の展開及び近世の文化についての基本的な事柄を総合的に理解し、その知識を身につけている。	定期考査 ワークシート 発言

2学期	幕藩体制の動揺	・幕政の改革 ・江戸幕府の衰退 ・化政文化	 ○ ○	○ ○ 	○ ○	○ ○ ○	a 幕藩体制の動揺、及び文化の特色について意欲的に追及している。 b 幕藩体制の動揺、及び文化の特色について多角的・多面的に考察し、その過程や結果を適切に表現できている。 c 幕藩体制の動揺、及び文化の特色に関する諸資料を収集し、有用な情報を適切に選択し、読みとり、図表などにまとめることができている。 d 幕藩体制の動揺、及び文化についての基本的な事柄を総合的に理解し、その知識を身につけている。	定期考査 ワークシート 発言 レポート
	近代国家の成立	・開国と幕府の滅亡 ・明治維新 ・立憲国家の成立 ・大陸政策の展開 ・近代産業の発展 ・近代の文化	○ ○ ○ ○	 ○ ○ 	 ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○	a 近代国家の形成過程と当時の国際情勢について意欲的に追及している。 b 近代国家の形成と当時の国際情勢の関係から課題を見出し、多角的・多面的に考察し、その過程や結果を適切に表現できている。 c 近代国家の形成過程と当時の国際情勢との関係に関する諸資料を収集し、有用な情報を適切に選択して、読みとり、図表にまとめることができている。 d 近代国家の形成過程と当時の国際情勢との関係についての基本的な事柄を総合的に理解し、その知識を身につけている。	定期考査 ワークシート 発言 レポート

2学期	二つの大戦とアジア	・第一次世界大戦と日本 ・政党政治と大衆文化 ・恐慌の時代 ・軍部の台頭 ・第二次世界大戦	○ ○	 ○ ○	○ ○	○ ○ ○	a 第一次・第二次世界大戦時の日本の社会情勢及び文化の特色について、意欲的に追及している。 b 第一次・第二次世界大戦時の日本の社会情勢及び文化の特色から課題を見出し、多角的・多面的に考察し、その過程や結果を適切に表現できている。 c 第一次・第二次世界大戦時の日本の社会情勢及び文化の特色に関する諸資料を収集し、有用な情報を適切に選択し、読みとり、図表などにまとめることができている。 d 第一次・第二次世界大戦時の日本の社会情勢及び文化の特色についての基本的な事柄を総合的に理解し、その知識を身につけている。	定期考査 ワークシート 発言 レポート

3学期	現代の世界と日本	・占領下の改革と主権の回復 ・55 年体制と高度経済成長 ・現代の情勢	○ ○	○	○	○ ○	a 国際社会への復帰と対米関係・経済成長・国際社会の変化について、意欲的に追究している。 b 国際社会への復帰と対米関係を関連づけて多角的・多面的に考察し、その過程や結果を適切に表現できている。 c 経済の高度経済成長に諸資料を収集し、有用な情報を適切に選択して、読みとり、図表などにまとめることができている。 d 国際社会の復帰と対米関係、経済成長・国際社会の変化について、総合的に理解し、その知識を身につけている。	定期考査 ワークシート

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:資料活用の技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。